

平成三十年度「全日本中学生水の作文コンクール愛媛大会」

(知事賞) 優秀賞

安心して水を使うために

新居浜市立南中学校 二年 井上 朋香

水は、私達のすぐ近くにある資源です。お風呂や洗たく、料理など、水はいろいろなことをするのに必要です。また、水は人間以外の生物にも不可欠なものです。この水をいつまでも安心して使い続けるためにはどうすればよいのか。私は自分にできる二つのことを考えました。一つ目は、節水です。どうして節水をしなければいけないのか。私の考える理由は、水不足の原因になってしまうからです。水不足になるのは、雨が降らないなどの自然に関することと、私達が水を必要以上に使っていたりするからだだと思います。自然に関することは私達に変わることができなくても、水の使いすぎなどは、私達で解決することができるのではないかと思えます。私は今まで水不足を経験したことがなく、実際どうなのか分かりませんが、水を出しっぱなしにしないなど、自分にできることをすれば、よいのではないかと思えます。二つ目は、水源の環境を守ることです。私がそう思うのは、安心して水を使うためです。水源の環境が悪いと、「あそこの水はあんまり使いたくないな。」となり、水を安心して使うことができなくなると思えます。

私の住んでいる若水町には、「つづら淵」という水がわき出ている場所があります。その水をくんで使っている人もいます。また、若水

町の「若水」という名前は、その水を使った行事からとられているそうです。

つづら淵は昔、若水町周辺の都市化によって、わき水の量が減少し、ゴミが散乱して、環境が悪くなりました。しかし、地域の方達の活動によって、今のような姿へ戻ったそうです。それもあり、つづら淵は「平成の名水百選」に選ばれています。

私はこのことを知って、つづら淵は地域の方達の活動のおかげで今の姿があることに驚きました。環境を元に戻せるんだなと思いました。私は今まで、環境を守ることにそれほど関心がありませんでした。しかし、このことを知って、安心して水を使うためにも、環境を守ることは本当に大切なんだと思うようになりました。また、水が汚かったり、環境が悪かったりすると、魚などの他の生物も生きていくことができなくなってしまう。大変な思いをするのは人間だけではないのです。他の生物は環境を悪くすることができません。水を汚したり環境を悪くするのは人間です。そのせいで、他の生物の生活をおびやかしているのです。だから、そんな状態にした私達人間が、元の環境に戻していかないといけないのだと思います。

私達がこれからも安心して水を使うためには、自分ができることをするべきだと思っています。水は私達のすぐ近くにあります。近くにありすぎて、どれだけ大切なのか見えにくくなっています。だから、自分のできる小さなことからでも、実行することが大切だと思います。